PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

64-018683

(43)Date of publication of application: 23.01.1989

(51)Int.Cl.

B41L 13/04 B41C 1/14

(21)Application number: 62-173874

(71)Applicant: RICOH CO LTD

(22)Date of filing:

14.07.1987

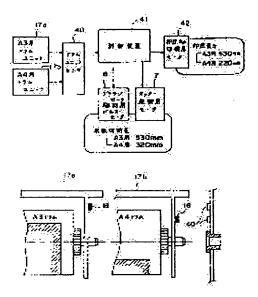
(72)Inventor: SATO MITSUO

(54) PHOTOENGRAVING PRINTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To reduce the cost of paper by automatically shortening a length of the paper to be used, by changing a printing drum for that of a small size use in the case of small sized prints.

CONSTITUTION: There are two kinds of drum units of A3 use and A4 use as a drum unit. Though A3 paper is passed lengthwise. A4 paper is passed crosswise. When the drum unit 17a of A3 use equipped to a machine, a drum unit sensor 40 detects that, and a controller 41 of the machine controls a platen roller drive pulse motor 6 and a cutter driving motor 7 according to a program to perform paper conveyance and paper cutting to a paper cut length of 530mm. Further, in printing, a cam is changed by moving a printing pressure cam changing motor 42 so that a printing pressure length becomes about 430mm. In the case where an A4 drum unit 17b is equipped to the machine, the motor 42 is so operated that the paper cut length becomes 320mm.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

0

Japanese Unexamined Patent Publication No. 64(1989)-018683

What is claimed is:

A stencil printing system comprising:

- a stencil making portion for making stencils from a roll of thermal paper;
- a cutting portion for cutting the thermal paper from the roll;
- print drums, around the outer circumference of which the thermal paper which have been formed into stencils is wound;
- a print drum attaching and detaching portion for exchanging print drums by slidably attaching and detaching them;
- a printing pressure portion for pressing a printing paper sheet against the outer circumferential surface of the print drum with a press roller; and
- means for sensing the type of the printing drum which is mounted on the system and automatically varying the cut lengths of the roll thermal paper and the distance along the outer circumferential surface of the print drum, on which printing pressure is applied by the press roller according to the result of the sensing.

⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭64-18683

@Int_Cl_1

識別記号

庁内整理番号

匈公開 昭和64年(1989)1月23日

B 41 L 13/04 B 41 C 1/14 7318-2C 6920-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑤発明の名称 製版印刷装置

②特 願 昭62-173874

ூ出 願 昭62(1987)7月14日

②発明者 佐藤

光 雄

宮城県柴田郡柴田町大字中名生字神明堂3の1 東北リコ

-株式会社内

⑦出 願 人 株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

②代 理 人 弁理士 武 顕次郎 外1名

明 柯田 👛

1.発明の名称

製版印刷装置

2. 特許請求の範囲

3. 発明の詳細な説明

(技術分野)

本発明はロール状の感熱孔版原紙に製版を行う 製版部と、そのロール状原紙を切断する切断部と、 製版済の感熱孔版原紙がその外周に巻き付けられ る印刷ドラム部と、その印刷ドラムを交換するためにスライド脱着させうる印刷ドラム脱着部と、 印刷ドラム外周面へ印刷用紙をプレスローラで押 し付ける印圧部とを有する孔版式製版印刷装置に 関する。

〔従来技術〕

ロール状感熱孔版原紙に製版し、これを切断して印刷ドラム外周に自動的に巻き付け、給紙された用紙をこの印刷ドラム外周へプレスローラで押し付けて印刷物を得るタイプの孔版式製版印刷装置は既に知られている。また、同時に色替のために印刷ドラムユニットを着脱して交換する方式も既に知られている。

しかし上記のような従来の竪版印刷装置においては、原紙切断長さというのは常に一定であり、 使用する原稿の大きさや印刷用紙の大きさに無関 係に決められている。

ところでこのような印刷機を用いて小部数印刷 を行う場合、1枚当たりの印刷コストに最も大き く効いてくるのは原紙コストであることは知られ ている.

そのため1回の製版に使用する原紙の長さは出来るだけ短くすることが求められる。

ところが従来の機械においては、たとえハガキサイズの製版印刷を行う場合にも、B 4 サイズ又はそれ以上の製版印刷の場合と同じ大きさの原紙を使用することになり、非常に無駄である。特に印刷面積A 3 という機械の場合、主としてA 4 サイズの印刷物の多いユーザーでは毎回 A 4 サイズの印刷のためにA 3 サイズ分の大きさの原紙を使用せねばならず大変な原紙の無駄となる。

(目的)

本発明は、この様な背景に基づいてなされたものであり、上記のような従来技術の欠点を克服して、小サイズの印刷物の場合には、印刷ドラムを小サイズ用に交換するだけで自動的に使用する原紙の長さを短縮して原紙コストを低下させることの出来る製版印刷装置を提供することを目的としている。

(構成)

らドラム10が図の矢印方向に回転して原紙をその外周に巻き付けていく。原紙の送り畳はプラテンローラ3を駆動するパルスモータ6に基づてフントロールされ、制御装置からの指令に基づいて一定量の送りが完了すればカツター駆動モータイが偏心カム8を回転させてカツター4を動かし、原紙が切断される。そしてドラム10がすつかて製版済原紙をその外周に巻付き完了することで製版給版が完了する。

印刷ドラム10は、多孔構造の円筒状版胴12と、その版開12に内接し、版胴内壁に印刷インキを供給するインキ供給ローラ13と、インキ供給ローラ13との間でインキ溜まり14を作るように設けられているドクターローラ15等からなり、更にこれに加えてインキ補給容器やインキ補給水ンでなどと一緒になつてドラムユニットはドラム10の触方向にスライドさせることで機械本体に対して脱着できるようになつている。

尚、ドラム脱着機構の詳細については同一出願

そのための本発明に係る製版印刷装置は、機械に装着された印刷ドラムの種類を検知し、それに応じてロール状感熱孔版原紙の切断長さとプレスローラの印圧長さとを自動的に変更する手段を有することを特徴とするものである。

以下、本発明の実施例について説明する。

第1図は本発明に係る製版印刷装置の概略図で ある。この構成と作用を説明する。

1はロール状に巻かれた孔版原紙であり、2は 孔版原紙に穿孔製版するサーマルへツドである。 3は原紙1をサーマルへツド2の発熱素子部に押 し付けながら搬送するプラテンローラであり、4 は原紙を切断するためのカツタである。5は原紙 先端を印刷ドラム10のクランパ11へ案内する ための給版ローラである。

図示しないスキヤナーから送られた画像信号に 基づいてサーマルヘツド2は孔版原紙1に穿孔製 版を行う。

製版された原紙は、その先端をドラム10のク ランパ11に係止され、更に製版が続けられなが・

人による実開昭 6 1 - 8 5 4 6 2 号に詳しく示されている。

印刷用紙 2 0 は給紙台 2 1 上に積載されて給紙 コロ 2 2 の回転により、最上のものから 1 枚ずつ送り込まれ、分離コロ 2 3 と分離プレード 2 4 との間で確実に 1 枚だけに分離されてフィードローラ対 2 5 に送られる。

フィードローラ対25はドラム10の回転と同期をとつたタイミングで回転して用紙20をドラム10とプレスローラ30との間へ送り込む。プレスローラ30は図示しない印圧カムに従つて軸31の周りに揺動して印刷用紙20をドラム10に向けて押し付ける。これによつてドラム10の周りに巻かれた孔版原紙の開孔に従つてインキが風過し、印刷用紙20にこのインキが転移して印刷画像が形成される。

印刷済の用紙は排紙搬送ベルト32で運ばれて 排紙トレイ33上に集積される。

尚、使用済の原紙は、排版剝がしローラ34で ドラム外周よりその後端を剝がし取られ、排版機 送ローラ35との間でドラム逆転と同時に遊送され、排版収納箱36内に収納される。

次に原紙の切断長さはどのようにして決まるか を説明する。

ドラムユニットとしてA3用とA4用の2種類がある。第2図はA3用ドラムユニットの版胴12の部分展開図であり、第3図はA4用のドラムユニットの版胴12の部分展開図である。11は原紙クランパであり、これが原紙先端を係止している。

A3用ドラムユニットの印刷画像長さは410 であり、従つて原紙の製版長さAも410 ある。印圧長さBはプレスローラ30が印刷用紙 を押し付けている範囲の長さであり、Aも若干 で約430 maである。円筒状版胴12の開孔部長 さCも約430 maである。16は円筒状版胴12 の外周に巻かれたメッシュスクリーンである。円 筒状版胴12は金属薄板からなり、インキ透過の ために一定範囲内に直径0.5 ma程度の小さい孔が 無数に明けられている。これがいわゆる開孔エリ

第5図は制御の概要を表したプロック図である。 A3用ドラムユニット17aが機械に装着され ている場合には、ドラムユニットセンサ40がこ れを検知し、機械の制御装置41がプログラムに 従つてプラテンローラ駆動パルスモータ6とカッ ター駆動用モータ7を制御して原紙切断長さを大 体530 mm とするように原紙機送と原紙切断を行 わせる。

また印刷時には、印圧カム切換用モータ42を動かして印圧長さが約430 ma となるようにカムを切り換える。

A 4 ドラムユニット 1 7 b が機械に装着されている場合には、ドラムユニットセンサ 4 0 がこれを検知し、機械の制御装置 4 1 がプログラムに従つてプラテンローラ駆動パルスモータ 6 とカッター駆動用モータ 7 を制御して原紙切断長さを大体3 2 0 m とするように働く。印刷時には印刷カムを切り換えて印圧長さが約 2 2 0 m となるようにする。

このように、本発明に係る装置を使用すれば、

アである.

原紙長さりは印圧長さBに先頭余白Eと後端余白Fとを加えたものになるが、先頭余白Eは大体80m、後端余白Fは大体20mであるから、原紙長さりは約530mとなる。.

A4用ドラムユニットの印刷画像長さは200mであり、従つて原紙の製版長さA・も200mである。印圧長さB・はA・より若干大で約220mである。円筒状版胴12の開孔部長さC・も約220mである。先頭余白Eと後端余白FはA3用ドラムユニットの場合と同じにとりEは大体80m、Fは大体20mで、原紙長さD・は320mとなる。

第4図はA3用ドラムユニットでの印刷面積と A4用ドラムユニットでの印刷面積を表す平面図 である。

つまり、A3の用紙は縦方向に通紙するが、A4の用紙は横方向に通紙するということになる。B5サイズ用紙も横方向に通紙してA4用ドラムユニットを使用する。

仮令、3サイズの画像面積を有する能力の製版印刷機でもA4以下の印刷画像を印刷しようとする場合には、機械のドラムユニットをA4用ドラムユニットに交換するだけで1版につき200印刷コストが低下するのみならず、1本のロール原紙では不するので、類わしいコール原紙で換の頻度が低下し、また排版の時に原紙に付着して捨てられるインキ豊も低下するので、インキ使用量もトータル的には減少する。

ドラムユニツトの検知の実施例を第6図に示す。 ドラムユニツト17には小さなマグネツト18 が1個取り付けられるようになつており、ドラム ユニツトが機械本体にセツトされた時に、機械本 体のマグネツト18に相対向する位置に2個のホ ール素子センサ(ドラムユニツトセンサ)40が 設けられている。

ドラムユニットの種類のよつてマグネットの位置が異なり、A3用ドラムユニット17aの場合には上の方についていて、A4用ドラムユニット

特開昭64-18683(4)

17 bでは下の方についている。

従つて、 2 個のホール素子センサのうち、上が O N すれば A 3 用ドラムユニット、下が O N すれば A 4 用ドラムユニット、どちらも O F F ならば ドラム無しというように検知できる。

次に印圧カムの切り換えの実施例を第7図に示す。

第8図は第7図のGG断面図である。プレスローラ30はアーム50に回転可能に支持され、アーム50は軸51を中心にして揺動可能でスプリング52によつてプレスローラ30が印刷ドラム10に押し付けられる方向に付勢されている。アーム50の他端には、カムフオロア53はカム板セツト54の回転によつてその外周面に沿つて上下動し、印圧が加わつたり解除されたりするようになっている。カム板セツト54は2枚のカム板54aと54bとからなり、54aはA3ドラム用で54bはA4ドラム用である。

カム板セツト54はカム軸55に対して回転方

ムユニットの版詞の部分展開図、第4図はA3、A4の印刷面積を示す平面図、第5図は本発明に係る原紙長さ切断制御のブロック図、第6図はドラムの種類を検知する機構の一例を示す図、第7図は印圧カムの切り換え機構を示す正面図、第8図はそのG-G線断面図である。

1 … 孔版原紙、 4 … 切断部、 1 0 … 印刷ドラム、 3 0 … プレスローラ。

代理人 弁理士 武 額次郎 (外1名)



向に固定されスラスト方向(軸方向)は摺動可能に設けられている。印圧カム切換用モータ56は制御装置からの指令によりねじ軸57を回転されているスラインの回転をシャフト59により規制されてかるため軸方向に移動し、スライグ58が移動し、このカム板をツト54と対するスカム板54とでり、540にしたりに投することができない。540のカム板だと220mになる。

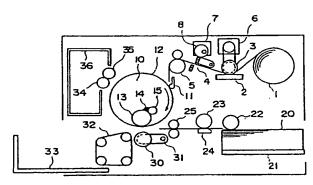
(効果)

本発明は以上述べた通りであり、本発明に係る 製版印刷装置によれば、印刷物のサイズに対応し て原紙の長さをカツトするものであるから、原紙 のコスト、インキの使用量を大幅に低減させるこ とが出来る。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明が適用される製版印刷装置の概略図、第2図、第3図はそれぞれA3、A4ドラ

第 1 段



特開昭64-18683(5)

